

○バリデーションメッセージ一覧 新旧対照表

第三版	第二版																																																														
(削除) 1-1 バリデーションメッセージの見方 (略) 図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例 <table><tr><th>例外が発生した日時</th><th>コード</th><th>例外種別</th><th></th></tr><tr><td>2012/12/25 12:34:56</td><td>EC8001E</td><td>[ERROR]</td><td>監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。</td></tr><tr><td colspan="4">ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd</td></tr><tr><td colspan="4">≪名前空間 URI=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫</td></tr></table> ↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。) (略) 図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例 <table><tr><th>例外が発生した日時</th><th>コード</th><th>例外種別</th><th>メッセージ種別</th><th></th></tr><tr><td>2012/12/25 12:34:56</td><td>EC5711W</td><td>[WARNING]</td><td>ルールNo.</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)</td></tr></table> ↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)	例外が発生した日時	コード	例外種別		2012/12/25 12:34:56	EC8001E	[ERROR]	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。	ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd				≪名前空間 URI=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫				例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別		2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルールNo.		SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)					記載内容の注意点 本書に記載している EDINET タクソノミの URL(http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/)は、運用時と異なる可能性があります。 1-1 バリデーションメッセージの見方 (略) 図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例 <table><tr><th>例外が発生した日時</th><th>コード</th><th>例外種別</th><th></th></tr><tr><td>2012/12/25 12:34:56</td><td>EC8001E</td><td>[ERROR]</td><td>監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。</td></tr><tr><td colspan="4">ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd</td></tr><tr><td colspan="4">≪名前空間 URI=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫</td></tr></table> ↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。) (略) 図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例 <table><tr><th>例外が発生した日時</th><th>コード</th><th>例外種別</th><th>メッセージ種別</th><th></th></tr><tr><td>2012/12/25 12:34:56</td><td>EC5711W</td><td>[WARNING]</td><td>ルールNo.</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)</td></tr></table> ↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)	例外が発生した日時	コード	例外種別		2012/12/25 12:34:56	EC8001E	[ERROR]	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。	ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd				≪名前空間 URI=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫				例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別		2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルールNo.		SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)				
例外が発生した日時	コード	例外種別																																																													
2012/12/25 12:34:56	EC8001E	[ERROR]	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。																																																												
ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd																																																															
≪名前空間 URI=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫																																																															
例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別																																																												
2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルールNo.																																																												
SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)																																																															
例外が発生した日時	コード	例外種別																																																													
2012/12/25 12:34:56	EC8001E	[ERROR]	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。																																																												
ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd																																																															
≪名前空間 URI=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINET コード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫																																																															
例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別																																																												
2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルールNo.																																																												
SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)																																																															

1-3-1 提出書類全般に関する例外

(略)			
図表 1-3-1 メッセージと対処方法（提出書類全般に関する例外）			
※xxx、yyy、zzz 及び aaa は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
WARNING	EC1056W	CSSの文法が、正しくありません(xxx)。ファイル名:yy(n行目) ※「(xxx)」の箇所には、「プロパティ名が正しくありません。」「プロパティ値がありません。」等の確認対象となる詳細情報が表示されます。	該当するファイルをCSSの文法に従って修正してください。

1-3-3 目次に関する例外

(略)			
図表 1-3-3 メッセージと対処方法（目次に関する例外）			
※xxx 及び yyy は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC2003E	目次項目が、384バイトを超えています。ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイルの目次項目を、384B（バイト）（全角128文字相当）以内になるように修正してください。
(略)			

1-3-1 提出書類全般に関する例外

(略)			
図表 1-3-1 メッセージと対処方法（提出書類全般に関する例外）			
※xxx、yyy、zzz 及び aaa は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
WARNING	EC1056W	CSSの文法が、正しくありません。ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイルをCSSの文法に従って修正してください。

1-3-3 目次に関する例外

(略)			
図表 1-3-3 メッセージと対処方法（目次に関する例外）			
※xxx 及び yyy は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC2003E	目次項目が、256バイトを超えています。ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイルの目次項目を、256B（バイト）（半角256桁相当）以内になるように修正してください。
(略)			

1-4-1 EDINET ルールに関する例外			
(略)			
図表 1-4-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)			
※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
<u>REMINDER</u>	<u>EC5606R</u>	【保有株券等の数】の保有株券等の数(総数) / (保有潜在株式の数 + 【株券等保有割合】の発行済株式等総数(株・口)) × 100 で算出され数値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【株券等保有割合】 上記提出者の株券等保有割合) を修正してください。 ＜修正対象＞ 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
<u>REMINDER</u>	<u>EC5607R</u>	【保有株券等の数】の内訳の株券等の数から控除する株券等の数を減算した値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【保有株券等の数】 保有株券等の数 (総数)) を修正してください。 ＜修正対象＞ 第2 提出者に関する事項 第3 共同保者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
(略)			
(削除)			
(略)			
SERIOUS WARNING	EC5615S <u>EC8057S</u>	連結貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
SERIOUS WARNING	EC5616S <u>EC8058S</u>	貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
(略)			

1-4-1 EDINET ルールに関する例外			
(略)			
図表 1-4-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)			
※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
<u>WARNING</u>	<u>EC5606W</u>	【保有株券等の数】の保有株券等の数(総数) / (保有潜在株式の数 + 【株券等保有割合】の発行済株式等総数(株・口)) × 100 で算出された数値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【株券等保有割合】 上記提出者の株券等保有割合) を修正してください。 ＜修正対象＞ 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
<u>WARNING</u>	<u>EC5607W</u>	【保有株券等の数】の内訳の株券等の数から控除する株券等の数を減算した値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【保有株券等の数】 保有株券等の数 (総数)) を修正してください。 ＜修正対象＞ 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
(略)			
<u>WARNING</u>	<u>EC5609W</u>	総括表の【提出者及び共同保有者】の個人名／会社数の数が、「xxx(yyy)」のメンバー数と一致しません。	提出書類 (【提出者及び共同保有者】 及び【共同保有における株券等保有割合の内訳】) を修正してください。 ＜修正対象＞ 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表 1 【提出者及び共同保有者】の総数と (3) 【共同保有における株券等保有割合の内訳】の総数
(略)			
SERIOUS WARNING	EC5615S (追加)	連結貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
SERIOUS WARNING	EC5616S (追加)	貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
(略)			

(削除)				ERROR	EC5619E	xxx(yyy)の集計結果が、不整合です。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください。
(削除)				WARNING	EC5620W	IFRS連結財政状態計算書又は財政状態計算書の貸借が、一致していません。	IFRS連結財政状態計算書又は財政状態計算書の貸借の値が、一致していることを確認してください。
				(追加)			
				(追加)			
				(追加)			
WARNING	EC8000W	報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪名前空間URI=yyy≫ ≪規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jp[府令略号][様式番号]/[報告書略号]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード又はファンドコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日 報告義務発生日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当する報告書のスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。	WARNING	EC8000W	報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪名前空間URI=yyy≫ ≪規約 =http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpl[府令略号][様式番号]/[報告書略号]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード又はファンドコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日 報告義務発生日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当する報告書のスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8001W	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪名前空間URI=yyy≫ ≪規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jp[監査報告書略号]/[当期又は前期の別][連結又は個別の別]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード又はファンドコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当する監査報告書のスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。	WARNING	EC8001W	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪名前空間URI=yyy≫ ≪規約 =http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jp[監査報告書略号]/[当期又は前期の別][連結又は個別の別]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード又はファンドコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当する監査報告書のスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8002W	IFRS財務諸表インスタンスのスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ifrs/[報告書略号]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当するIFRS財務諸表インスタンスのスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。	WARNING	EC8002W	IFRS財務諸表インスタンスのスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間URIが、規約に則していません。 ファイル名:xxx ≪規約 =http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/ifrs/[報告書略号]/[報告書連番(3桁)]/[EDINETコード]-[追番(3桁)]/[報告対象期間期末日]/[報告書提出回数(2桁)]/[報告書提出日]≫	該当するIFRS財務諸表インスタンスのスキーマファイルの名前空間URIを、規約に則して設定してください。
(略)				(略)			

WARNING	EC8007W	報告書の拡張リンクロールのroleURIが、規約に則していません。ファイル名:xxx <roleURI=yyy> <規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/jp[府令略号 dei](-[報告書略号])/rol_[ルート要素名(AbstractとHeadingを除いたもの)](-[修飾語])(-[連番2桁])>>	該当する報告書の拡張リンクロールの「roleURI」を、規約に則して設定してください。
(略)			
WARNING	EC8017W	IFRS連結財政状態計算書又は財政状態計算書の貸借が、一致していません。	IFRS連結財政状態計算書又は財政状態計算書の貸借の値が、一致していることを確認してください。
(略)			
WARNING	EC8038W	大株主の状況の詳細タグ付けがされていません。	大株主の状況の詳細タグ付けをしてください。
REMINDER	EC8038R		
(略)			
WARNING	EC8051W	IFRS連結包括利益計算書又は包括利益計算書の詳細タグ付けがされていません。	IFRS連結包括利益計算書又は包括利益計算書の詳細タグ付けをしてください。
(略)			
WARNING	EC8056W	総括表の【提出者及び共同保有者】の個人名／会社名の数が、「xxx(yyy)」のメンバー数と一致しません。	提出書類（【提出者及び共同保有者】及び【共同保有における株券等保有割合の内訳】）を修正してください。 <修正対象> 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表 1 【提出者及び共同保有者】の総数と (3) 【同保有における株券等保有割合の内訳】の総数
ERROR	EC8059E	xxx(yyy)の集計結果が、不整合です。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください
ERROR	EC8060E	コンテキストのscenario要素にデフォルトメンバー要素が設定されています。 <<コンテキストID=xxx>>	コンテキストのscenario要素からデフォルトメンバー（ディメンションデフォルトのアーキロールが設定されている要素）を削除してください。なお、削除した結果、GFM1.2.7に違反する場合、当該コンテキストは不要であり設定できません。 GFM1.2.7の詳細については、『添付3 GFM検証項目一覧.xls』を参照してください。

WARNING	EC8007W	報告書の拡張リンクロールのroleURIが、規約に則していません。ファイル名:xxx <roleURI=yyy> <規約 =http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/role/jp[府令略号 dei](-[報告書略号])/rol_[ルート要素名(AbstractとHeadingを除いたもの)](-[修飾語])(-[連番2桁])>>	該当する報告書の拡張リンクロールの「roleURI」を、規約に則して設定してください。
(略)			
(追加)			
(略)			
WARNING	EC8038W	大株主の状況の詳細タグ付けがされていません。	大株主の状況の詳細タグ付けをしてください。
(追加)	(追加)		
(略)			
WARNING	EC8051W	IFRS連結損益計算書又は損益計算書の詳細タグ付けがされていません。	IFRS連結損益計算書又は損益計算書の詳細タグ付けをしてください。
(略)			
(追加)			
(追加)			

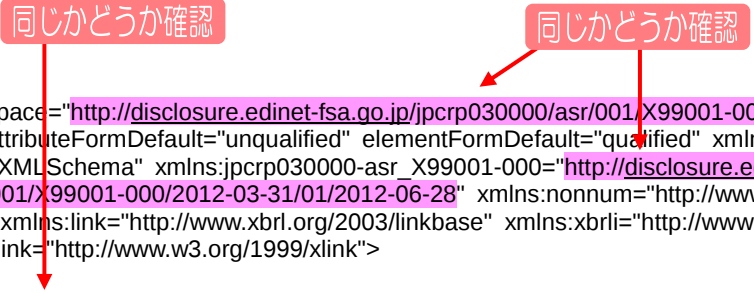
1-4-2-1 代表的な例外の対処方法について

(略)

■ データの様子

◆インライン XBRL ファイル

```
<xbrli:context id="CurrentYearInstant_jpcrp030000-asr_X99001-000No11MajorShareholdersMember">
  <xbrli:entity>
    <xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X99001-000</xbrli:identifier>
  </xbrli:entity>
  <xbrli:period>
    <xbrli:instant>2012-03-31</xbrli:instant>
  </xbrli:period>
  <xbrli:scenario>
    <xbrldi:explicitMember dimension="jpcrp_cor:MajorShareholdersAxis">
      jpcrp030000-asr_X99001-000:No11MajorShareholdersMember_XXX
    </xbrldi:explicitMember>
  </xbrli:scenario>
</xbrli:context>
```



◆スキーマファイル

```
<xsd:schema targetNamespace="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:jpcrp030000-asr_X99001-000="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" xmlns:nonnum="http://www.xbrl.org/dtr/type/non-numeric" xmlns:link="http://www.xbrl.org/2003/linkbase" xmlns:xbrli="http://www.xbrl.org/2003/instance" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink">
  . . .
  <xsd:element name="No11MajorShareholdersMember" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_No11MajorShareholdersMember" type="nonnum:domainItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="true" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
  <xsd:element name="NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" type="nonnum:textBlockItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="false" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
</xsd:schema>
```

(略)

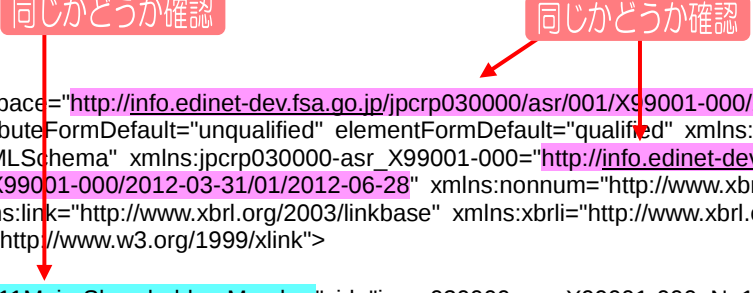
1-4-2-1 代表的な例外の対処方法について

(略)

■ データの様子

◆インライン XBRL ファイル

```
<xbrli:context id="CurrentYearInstant_jpcrp030000-asr_X99001-000No11MajorShareholdersMember">
  <xbrli:entity>
    <xbrli:identifier scheme="http://info.edinet-dev.fsa.go.jp">X99001-000</xbrli:identifier>
  </xbrli:entity>
  <xbrli:period>
    <xbrli:instant>2012-03-31</xbrli:instant>
  </xbrli:period>
  <xbrli:scenario>
    <xbrldi:explicitMember dimension="jpcrp_cor:MajorShareholdersAxis">
      jpcrp030000-asr_X99001-000:No11MajorShareholdersMember_XXX
    </xbrldi:explicitMember>
  </xbrli:scenario>
</xbrli:context>
```



◆スキーマファイル

```
<xsd:schema targetNamespace="http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:jpcrp030000-asr_X99001-000="http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" xmlns:nonnum="http://www.xbrl.org/dtr/type/non-numeric" xmlns:link="http://www.xbrl.org/2003/linkbase" xmlns:xbrli="http://www.xbrl.org/2003/instance" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink">
  . . .
  <xsd:element name="No11MajorShareholdersMember" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_No11MajorShareholdersMember" type="nonnum:domainItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="true" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
  <xsd:element name="NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" type="nonnum:textBlockItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="false" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
</xsd:schema>
```

(略)

1-4-3 GFM 検証に関する例外

(略)			
図表 1-4-3 メッセージ種別と対処方法（GFM 検証に関する例外）			
例外種別	コード	ルール No.	対処方法
(略)			
(削除)			
(略)			

1-4-5 FRIS 検証に関する例外

(略)				
図表 1-4-4 メッセージ種別と対処方法（FRIS 検証に関する例外）				
例外種別	コード	ルール No	メッセージ	対処方法
(略)				
(削除)				
(削除)				
(略)				

1-4-3 GFM 検証に関する例外

(略)			
図表 1-4-3 メッセージ種別と対処方法（GFM 検証に関する例外）			
例外種別	コード	ルール No.	対処方法
(略)			
<u>WARNING</u>	<u>EC5700W</u>	<u>1.10.8</u>	<u>href属性やsrc属性に絶対パス（data:スキームは除く。）又は別フォルダへの相対パスを指定しないでください。</u>
(略)			

1-4-5 FRIS 検証に関する例外

(略)				
図表 1-4-4 メッセージ種別と対処方法（FRIS 検証に関する例外）				
例外種別	コード	ルール No	メッセージ	対処方法
(略)				
<u>WARNING</u>	<u>EC5711W</u>	<u>2.1.8</u>	<u>Irrelevant schema location hints should not appear in XBRL instances.</u>	<u>提出文書内に関連のないスキーマロケーションが含まれています。不要なスキーマロケーションは、削除してください。</u>
<u>WARNING</u>	<u>EC5711W</u>	<u>2.1.9</u>	<u>An xsi:schemaLocation hint should not contain more than one namespace-location pair.</u>	<u>xsi:schemaLocationが重複して指定されています。重複しないよう、不要なxsi:schemaLocationを削除してください。</u>
(略)				